



令和3年3月3日（水）

就労継続支援 B 型事業所
AMUAI（帯広市）

就労継続支援 B 型事業所
151 枝（帯広市）

就労継続支援 A 型・B 型事業所
トリノ（帯広市）

就労継続支援 A 型事業所
ウェルズ（帯広市）

就労継続支援施設 AMUAI（B 型）

事業所名は“自分は何者か？（Who Am I？）”、「自分を知って・大切にできる＝他人のことも考えられるようになる」という考え方が由来だそうです。主な活動はエゾ鹿皮を原料とした作品制作、アートイベント、地域貢献活動です。利用者さんは 5 つの科に所属して帰属意識を持ちながら活動に取り組むことで、就労への準備を進めていけるように支援されているとのこと。今後も自事業所からの発信を地域に向けて精力的に行いながら、地域で提供されるイベントや研修も活用して、利用者さんと外部の方達がつながる機会を増やしていきたい、その中で職員も一緒に成長していきたいというお声をいただきました。



施設長の清野さん(右端)を中心にご対応いただきました。

合同会社 151 枝（B 型）

今年、開設 3 年を迎える 151 枝の事業所名は茶道の心得である一期一会がモチーフです。作業活動にはカフェ業務や雑貨制作、販売、清掃作業、農作業等があり、特にカフェ業務は欠かせない活動として、新型コロナウイルス感染対策の上で継続されていたそうです。また、活動の種類や拠点の多さを活かした関わりを意識されているというお話をうかがいました。訪問の最後には、同地域の支援員同士のつながりや経験の共有が出来る場を求めているという話題になり、ライバル関係よりも地域が一丸となって支え合い・レベルアップしたいとのことでした。



代表の青木さんにご対応いただきました。

株式会社 トリノ（A 型・B 型）

A 型・B 型の多機能型事業所を運営されている株式会社トリノは、知的障がい・精神障がいをお持ちの方が多く利用されており、所属先によって個々のニーズはかなり幅広くなっている様です。特に A 型の利用者さんに対しては、一般就労を目指していくという点で企業で働くことの厳しさを取って伝えていくことを意識されているとのことでしたが、働く力がありながらも就職に向けた意欲を強く持つ方が少なく、そこに働き掛けることへの難しさを日々感じられている様です。また、福祉経験の少ないスタッフに対する人材育成について、スキルアップする機会が外部にもあると良いと感じているというご意見をいただきました。



代表取締役社長的美濃さん(左)、サービス管理責任者の川口さん(右)にご対応いただきました。

就労継続支援 A 型事業所 ウェルズ（A 型）

自動車清掃・メンテナンス、建物の清掃、飲食店での調理補助・食品加工等の作業活動があり、それぞれの拠点ごとの特徴を活かした取り組みができるようです。利用者さんの状況に合わせてフルタイム勤務に近い利用時間にできる体制が整えられており、徐々に利用時間を延ばしながら、一般就労を目指して活動されている方が多いとのこと。また最近では、幕別町に新たな活動拠点ができていたり、現事業所についても来年度中の引越しの予定があり、詳細については改めて資源マップ等で周知していただけるそうです。



所長の松浦さんにご対応いただきました。

今後も訪問を進めて参りますので、よろしくお願いいたします